

令和5年度

# 四万十町を元気にする 地域ビジネスアイデアを ゼロから作るワークショップ

第三回 ビジュアルレポート

作成：

高知大学 地域協働学部 コミュニティデザイン研究室



- **日時** : 令和5年11月18日 (土) 13:00~18:00
- **会場** : 四万十町役場 東庁舎1階 多目的大ホール
- **主催** : 四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- **実施内容** : ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス（コミュニティビジネス）」に注目が集まっている。まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す、地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいく。

## 【タイムライン】

Time	Theme
13:00-13:10	チェックイン
13:20-15:20	ビジネスモデル図解ワーク
15:20-17:50	最終発表
17:50-18:00	チェックアウト



## 四万十町を元気にする

# 地域ビジネスアイデアを ゼロからつくるワークショップ

**「地域課題をビジネスの力で解決する」**  
**「地域資源を活かした商品やサービスをつくりたい」**  
**「自分らしく地域で仕事をしたい」**



ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題解決に取り組む「地域ビジネス（コミュニティビジネス）」に注目が集まっています。

本講座では、まちづくりや地域観光、教育、福祉、子育て、6次産業、商品開発など、地域の多様な資源を活かしながら

目の前にある様々な困りごとや課題の解決を目指す地域ビジネスのアイデアを事業にするための一連のプロセスをワークショップ形式で体感しながら学んでいきます。

**託児  
あります！  
・  
参加費無料**

### 本講座の特徴

- ✓ 地域ビジネスの基本的な考え方をゼロから学べます
- ✓ ワークショップを通じて地域ビジネスの事業アイデアを具現化していきます
- ✓ 受講生同士が対話を通じてそれぞれの想いやアイデアを具体化していきます

### 対象

- ✓ 四万十町を拠点に地域ビジネスで起業したい方
- ✓ 自分の好きなことや大切な想いを形にしたい方
- ✓ 新しい働き方・まちづくりに関心のある方
- ✓ 自ら運営する NPO・地域団体等の活動や事業をブラッシュアップしたい方
- ✓ 地域の未来に想いのある人とつながって地域を盛り上げていきたい方 など

### 日程・内容

第 1 回	第 2 回	第 3 回
<b>9/23(土)</b> 13:00-18:00	<b>10/21(土)</b> 13:00-18:00	<b>11/18(土)</b> 13:00-18:00
地域ビジネスの 始め方を学ぶ	顧客と課題を定義し、 アイデアをカタチにし、 テストする	ビジネスモデルの 構築と実現に向けた アクションプランを 策定する

主催：四万十町  
協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

## プログラム

**第 1 回**  
**「地域ビジネスの始め方を学ぶ**  
—自分の想いと地域課題を見つけ、課題解決に向けたアイデアを描く—

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想い（原体験、好き・嫌い）の存在と、身の回りにある困りごとや悩み事、解決したい地域課題を特定することが大事になります。ここでは、自分の好き嫌いを見つめ直し、身の回りにある地域の課題を洗い出し、それらを起点に取り組んでみたい地域ビジネスのアイデアの描き方を学びます。

**第 2 回**  
**「顧客と課題を定義し、アイデアをカタチにし、テストする**  
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ—

自分たちが救いたい顧客（ペルソナ）は誰なのかを具体化し、その顧客がまだ気づいていない本当に解決してほしい潜在的な課題を特定するための方法を学びます。そのうえで、第1回で描いたアイデアの修正を行い、必要最低限の要件を備えた試作品（プロトタイプ）を作成し、アイデアの検証に向けた確認事項を明らかにしていきます。

**第 3 回**  
**「ビジネスモデルの構築と実現に向けたアクションプランを策定する**  
—持続可能なビジネスモデルを設計し、協力体制を築く—

持続可能な事業として展開できる「ビジネスモデル＝誰に何を提供し、どうお金得るか」を構築し、図解します。そのうえで、実現に向けたアクションプランを考え、地域の人、組織とどのような協力を引き出すことが必要か整理していきます。

### 募集概要

- 募集人員：10 名
- 受講料：無料
- 申込方法：  
右下の QR コードを読み込んで申込フォームから応募いただくか、お電話・メールにて **9月14日(木) 正午**までに事務局にお申し込みください。
- 場所：  
第1回：四万十町農村環境改善センター 2階 大会議室（高岡郡四万十町榊山町 3-7）  
※第2回以降は、お申し込みいただいた方のみにも通知いたします。
- 特典：  
・地域ビジネスに関する基本的考え方をまとめたオリジナルテキスト『地域ビジネス実践ガイド』をプレゼント
- 注意点：  
・全3回、出席できる方を優先します  
・講座は受講生同士の対話や、グループワークを中心に進めていきます  
・講座と講座の間にチームでフィールドワークやインタビュー等を行う場合があります  
・ご自身に明確なアイデアがない方でも大丈夫です  
・最終回には、事業アイデアをポスター等に取りまとめて発表します

### 運営・進行

**須藤 順 氏**  
(高知大学地域協働学部 准教授)



専門は、社会的企業論/社会起業家論・コミュニティデザイン論・ソーシャルビジネス論。四万十町地域イノベーター養成講座や四万十町チャレンジアワードなど、四万十町の人材育成事業をサポート。2018年2月中小企業庁・創業機運醸成賞受賞（「マイプロジェクト手法を活用した学生向けの起業・新規事業開発支援」）

### 事務局

四万十町役場人材育成推進センター  
(担当：中井智之・吉村愛)

〒786-0008  
高知県高岡郡四万十町榊山町 3 番 7 号

E-mail：103060@town.shimanto.lg.jp

TEL：0880-22-3163  
FAX：0880-22-3345

お申し込みは  
こちらから





テーマ

### 第1回

「地域ビジネスの始め方を学ぶ  
—自分の想いと地域課題を見つけ、  
課題解決に向けたアイデアを描く」

### 第2回

「顧客と課題を定義し、  
アイデアをカタチにし、テストする  
—ユーザーリサーチの方法を学ぶ」

### 第3回

「ビジネスモデルの構築と実現に向  
けたアクションプランを策定する  
—持続可能なビジネスモデルを設計  
し、協力体制を築く」

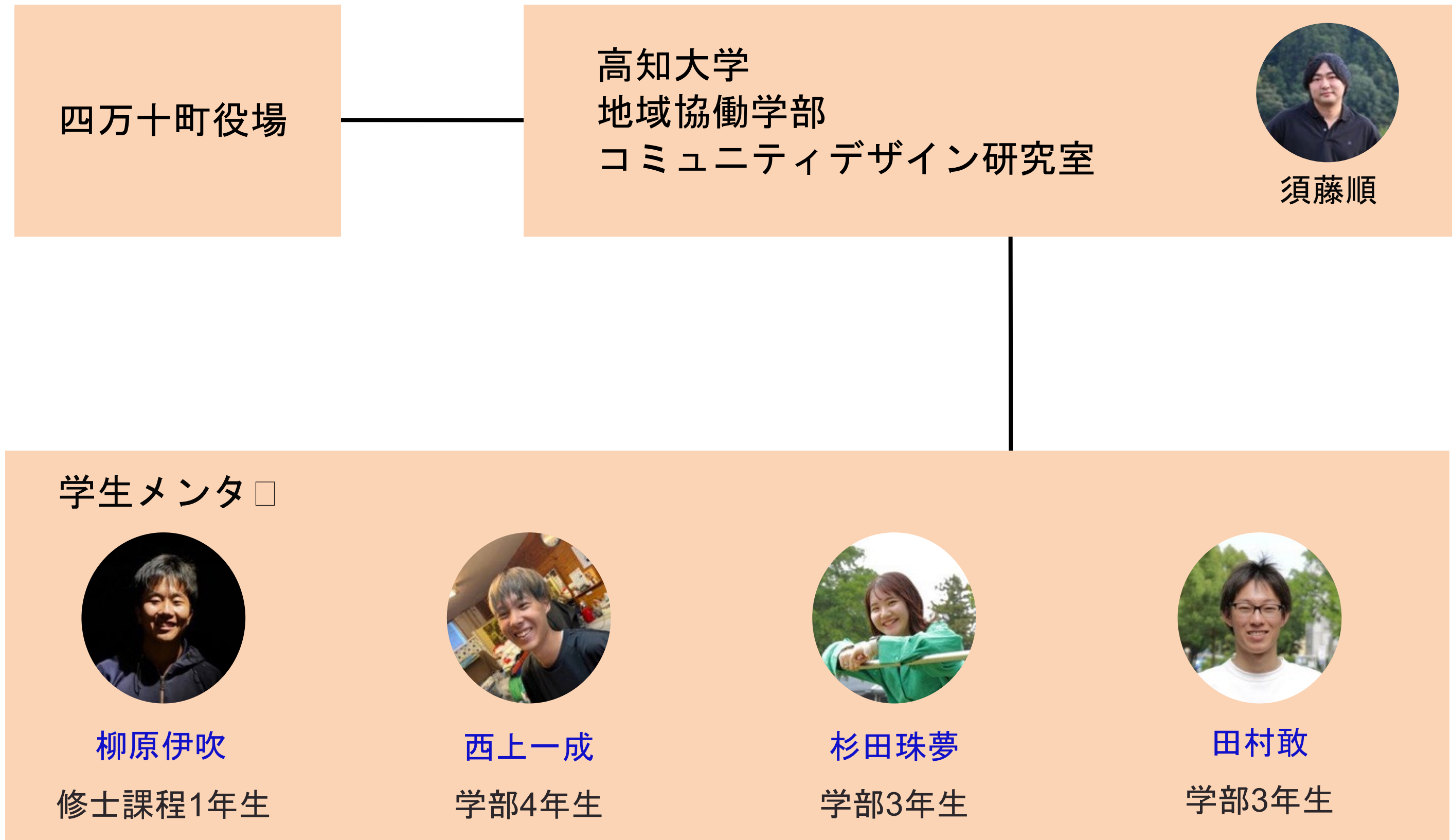
内容

地域ビジネスは、一人ひとりの強い想  
い（原体験、好き・嫌い）の存在と、  
身の回りにある困りごとや悩み事、解  
決したい地域課題を特定することが大  
事になります。ここでは、自分の好き  
嫌いを見つめ直し、身の回りにある地  
域の課題を洗い出し、それらを起点に  
取り組んでみたい地域ビジネスのアイ  
デアの描き方を学びます。

自分たちが救いたい顧客(ペルソナ)は  
誰なのかを具体化し、その顧客がまだ  
気づいていない本当に解決してほしい  
潜在的な課題を特定するための方法を  
学びます。そのうえで、第1回で描い  
たアイデアの修正を行い、  
必要最低限の要件を備えた試作品（プ  
ロトタイプ）を作成し、アイデアの検  
証に向けた確認事項を明らかにしてい  
きます。

持続可能な事業として展開できる  
「ビジネスモデル=誰に何を提供し、  
どうお金得るか」を構築し、図解し  
ます。そのうえで、実現に向けたア  
クションプランを考え、地域の人、  
組織とどのような協力を引き出すこ  
とが必要か整理していきます。





目の前にある様々な困りごとを一人ひとりが捉え、  
課題の解決を目指す地域ビジネスの  
アイデアを事業にするための一連のプロセスを  
学ぶことで、事業アイデアの具現化を目指す。



- ① 自分の想いと地域課題を見つけ、それを解決するための地域ビジネスを学ぶ
- ② 持続可能なビジネスプランを設計し、協力体制を築く

# 講座の様子





最初に須藤より本日の講座に関する説明が行われた後、チェックインとして「名前/今の気持ち/今日の講座への期待」についてグループ内で共有を行った。講座最終回を迎え、最終発表を控える受講生は講座が終わる寂しさを語ったり、発表に向けた不安点や構成について話し、確認する様子が見られた。「このメンバーと一緒にできてよかった」、「今まで練ってきた事業をうまく発表できるか不安」などの声が聞かれた。第一回目と比較してチームでの会話もとても弾むようになっており、和気あいあいとした明るい雰囲気最終回をスタートさせることができた。



自分たちの事業について話す受講生



話に耳を傾ける様子



グループで前回までの振り返りを行う様子



須藤から講座に関する説明



チェックインを行う受講生



全体の様子



チェックイン後、ワークの実施前にビジネスモデル図解ワークに関する説明が行われた。須藤の指示に従って個人で自分たちのグループが考えている事業に関する要素をワークシートにまとめていった。すぐに埋めることができた要素もあれば、記入することに苦戦している要素もあり悩みながらワークシートを埋めた。次に、個人でまとめたシートをチームで共有し、グループでビジネスモデルの図解を行った。個人で考えたものを擦り合わせると、お互いに認識が合っていなかった部分に気づくことができ、改めてグループ内で共通認識を深めることができた。



須藤からワークに関する説明



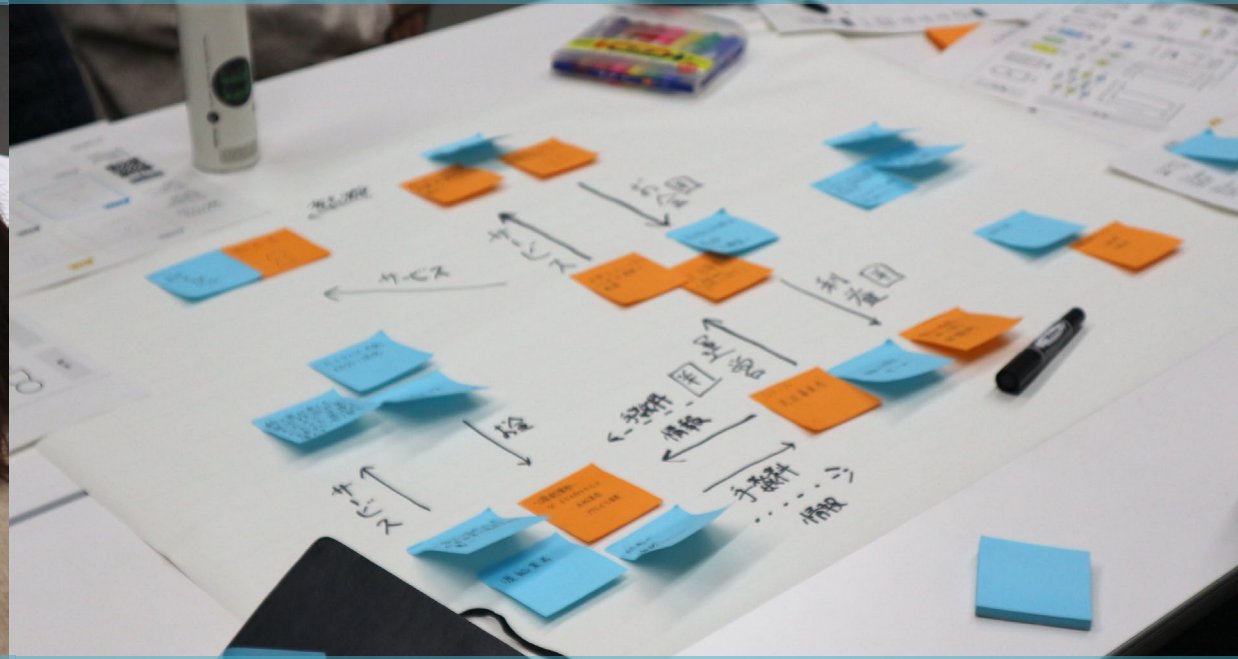
チームでまとめる様子



付箋を使って要素を整理



シートを眺める受講生



ビジネスモデル図解



ワーク中の全体の様子



最終発表に向けての準備として1時間ほど取った後、最終発表が行われた。発表の準備ではチームで協力しながらパソコンを使って資料を作ったり、模造紙を使って事業の要素をわかりやすくまとめたりと、それぞれのチームで工夫を凝らしながら準備を行なった。最終発表では順番に発表を行い、この全三回の講座を踏まえ、チームの中でブラッシュアップを重ねた事業について発表を行った。発表後は須藤と四万十町役場の川上氏よりフィードバックが行われ、自分たちの事業に対する新たな視点に気づき、事業の実施可能性などを検討する時間となった。



発表準備をする全体の様子



最終発表をする受講生



メッセージカードに記入する様子



模造紙にまとめ発表する様子



発表を聞く受講生の様子



川上課長からのフィードバック



チェックアウトでは全三回の講座を終えての感想、事業のこれからの目標立ての共有をチーム内で行なった。「このチームでできたからこそここまで事業を作り上げることができた」、「小さい目標から始めてみよう」など前向きな言葉やメンバー同士で今後のアクションを励まし合う様子が見られた。最後には全三回の講座を総括するインプットが須藤より行われ、四万十町役場の川上氏より講座の総括が行われ、講座が終了した。講座終了後には集合写真を撮ったり、発表に対するメッセージカードの交換をしたりと、最後まで交流を行う様子が印象的であった。



チームで目標を立てる様子



講座のまとめを行う様子



川上課長より講座の総括



講座終わりに交流を行う様子



全体での集合写真



グループでの集合写真



## 問い合わせ先

---

四万十町役場人材育成推進センター

担当：中井智之・吉村愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

E-mail : [103060@town.shimanto.lg.jp](mailto:103060@town.shimanto.lg.jp)

TEL : 0880-22-3163 FAX : 0880-22-3345

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL : 088-788-8077 FAX : 088-888-8043

E-mail : [j.suto@kochi-u.ac.jp](mailto:j.suto@kochi-u.ac.jp)

Web : <https://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。